

学生から見た狭山の「地域価値」

西武文理大学生からみた狭山の好きな点

- 七夕まつり
- ホンダ、ロッテ等の産業群、国道 16 号
- 飲食店が多いまち
- 狭山茶
- のどかな風景、自然、空気のよさ
- 人が優しい
- 大学があること
- 静かなベッドタウン
- 緑が多い、公園がある
- 都心に出るのに便利
- 夕日がきれい
- 富士山など、山が見える
- 入間川
- 遊べる河原がある
- 大きなビルがない

狭山の嫌いな点

- 活気がない
- カフェが少ない
- 遊べる場所が少ない
- 買い物が不便
- 飛行機騒音
- 駅前が貧弱
- シンボリックな建物がない
- 車が多く、歩くのが危険
- 本屋が少ない
- お店が小さい
- これといったイメージが湧かない
- 道が狭い
- 何かを見るところが少ない

これから作って欲しいもの（学生達の声）

- 個性的な店
- なつかしい店
- 狭山ならではのブランド
- 賑やかな雰囲気
- 運動公園、体育館、スポーツジム
- Jリーグなどが観戦できるスタジアム
- 交流しあえる場
- シンボリックな駅ビル
- 入間川にプールを
- 大型ショッピングセンター
- ティーサロン
- 茶摘みなどができる施設
- 賑やかな商店街

まちづくり（コミュニティデザイン）

- 「暮らしやすさ」を重視した地域づくり
- 発見・創造性を育むまち：芸術、文化、歴史、界隈、小道歩きが楽しめる
- コミュニケーションのあるまち：祭り、イベント、交流、カフェの存在
- コア（中心性）のあるまち：まちのシンボルがある

こうありたい私の住むまち(理想・夢を描きましょう)

(例)

活動テーマ・活動名

こうありたい新狭山北口商店街

- シャッター店舗のない
- 加入しなきゃ損!と思わせるような魅力のある
- 夜も昼も人の往来が多く、活気がある
- どの店からも、元気な声かけと笑顔が絶えない
- こんな町に住んでみたいと思われるような

新狭山北口商店街を 元気にする (未来創造委員会)

- 思いを共有できる仲間を作り、
- アイディアを出し合い、
- 広く地域(お客さま)の声を集め、
- 日も夜もあけず議論を交わし、
- 地域のボランティア(個人、団体)の協力を集め、
- 関係各所に頭を下げて回り、

エトセトラ、エトセトラ

- 商店街が元気だと、どんなメリットがあるのか、商店会に入会すると、どんなメリットがあるのか、説得力のある具体的な例(複数)を考える。
- 地域にとって、店舗にとって魅力的な商店街(商店会)とは?
- チラシやインターネットなどで、広くPRする。

あなたの夢は特定のだれに何をすれば、実現する?

私は何ができる?(夢を実現するためにできること)

新狭山北口商店会 未来新聞

地域に密着した元気な商店街として、新狭山北口商店街が総理大臣賞を受賞！

10年前には、シャッターが閉まったままの店が多く、活気がなく、人通りも少なかった。

「商店会に入会して何のメリットがあるの？」

と、入会を拒む店舗も多かった。

年に一度の「すかいロード祭り」の予算すら捻出できないほど、じり貧の状態に陥っていた。

そこで立ち上ったのが、「未来創造委員会」のメンバーたち。

「商店会をなんとかしよう！」

と、意見を同じくする仲間が、日夜をあけず集まり、議論をかわし、失敗にもめげず、試行錯誤を繰り返した。

その結果、

- 100%バリアフリー化（安心、安全）
- 雨傘、日傘のいらぬアーケード
- 気軽に無料で過ごせる「たまり場」
- 商品お届けサービス
- 地域商品券

などのサービスを、軌道に乗せた。

（注：あくまでも未来新聞の記事の例です）

それらの一連のサービスは、新たに立ち上げたNPO法人が行い、法人の収益は年間1億円。

また、スタッフへの給与は、現金でなく「地域商品券」で支払うことにより、商店会の活性化につながっている。

これらの一連のサービスの実施で、商店会への加入を希望する店舗が急増。半径1キロメートルエリアでの未加入店舗率はゼロになった。

また、ぜひこの地で店を開きたいという希望も多く、今では空き店舗の順番待ちの状態である。当然シャッター店舗はない。

他県からの問い合わせや、講演の依頼も多く、田口会長は、北へ南へと、ひっぱりだこである。

そんな新狭山北口商店街であるが、昨年度は、

「**全国住みたい町 No.1**」にも選ばれている。
（毎朝新聞アンケート調査より）

また、この10年で自殺率、孤独死率が10分の1にまで下がった。（新狭山北口地区。狭山市役所調べ。2023年統計より）（新聞記事妄想：松石）

まちづくり担い手養成コース

2013年4月から10月まで毎週金曜日、2時間半（全17回）（受講生：茂音パソコン塾 松石雅子）

10回目までは、毎回、パワフルな講師陣から、具体的な成功例を講義いただき、ただただ、圧倒されました。日本一元気な商店街（世田谷区烏山通り商店街）の現地視察、長野県小布施の視察、地域商品券の活用成功例、自治会のNPO法人化の成功例、緑化推進成功例、など。

11回目は、1～10回目までの講義をふまえて、「<あなた>の夢はどうすれば叶うのか？」という課題に。

[東北の未来新聞](#)（資料1）を題材に、わたしの夢（資料3）と、未来新聞（資料4）を作成いたしました。